



国土交通省東北地方整備局

Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記者発表

平成27年12月18日
福島河川国道事務所

甚大な洪水被害を軽減するための「トップセミナー」開催のお知らせ

～ 平成27年9月関東・東北豪雨を受けた『避難を促す緊急行動』～

阿武隈川上流沿川の市町村長を対象に、避難勧告・指示の判断等に資する情報とその対応等について周知・確認を行うトップセミナーを開催することとしましたのでお知らせします。

<開催主旨>

- 平成27年9月に関東・東北で発生した豪雨では、茨城県常総市の鬼怒川で堤防が決壊し、約1万1千棟の家屋が浸水する甚大な被害が発生しました。
- 国土交通省では、①堤防決壊に伴うはん濫流による家屋の倒壊・流失、②地方公共団体による避難判断・広域避難、③避難の遅れと長時間・広範囲の浸水による多数の孤立者の発生、の3点を主な課題ととらえ、「避難を促す緊急行動」を10月5日に発表しました。
(http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000893.html)
- この緊急行動の一環としてトップセミナーを開催し、洪水予報やホットラインなど、出水時に河川管理者から提供される情報とその対応などについて確認を行う予定です。
- 東北地方整備局管内の取り組み状況はこちらをご覧ください。
(<http://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00037/k00790/index.html>)

上記アクセス後、このバナーをクリック→

「避難を促す緊急行動」の取り組み

<トップセミナー開催日時等>

○ 開催日時

平成27年12月22日(火) 10時00分～ 1時間程度

○ 実施場所

福島河川国道事務所 3階 大会議室

○ 対象市町村(洪水予報・水防連絡会 構成市町村)

福島市、二本松市、郡山市、須賀川市、伊達市、国見町、桑折町、本宮市、大玉村、玉川村

○ 内容

- 1) 関東・東北豪雨災害における被害状況
- 2) 河川管理者から提供する情報とその対応
- 3) 意見交換

○ 取材について

取材については、2)までとさせていただきますので、詳しい内容等につきましては下記問合せ先にご連絡をお願いいたします。

≪ 発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、郡山記者クラブ ≫

< 問い合わせ先 >

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
TEL 024-546-4331(代表)

副所長(河川担当) ^{ニヘイ} 二瓶 昭弘(内線 204)

調査第一課長 ^{オウナカ} 奥中 智行(内線 351)

平成27年9月関東・東北豪雨により、各地で浸水被害等がおこり、甚大な被害が発生

全国の市町村長や堤防沿いにお住まいの方々の不安や懸念に応えるための
「**避難を促す緊急行動**」を開始(平成27年10月5日)

～被災した場合に大きな被害が想定される国管理河川において、以下を実施～

1. 首長を支援する緊急行動

～市町村長が避難の時期・区域を
適切に判断するための支援～

【できるだけ早期に実施】

- トップセミナー等の開催 12月22日開催
- 水害対応チェックリストの作成、周知
- 洪水に対しリスクが高い区間の共同点検、住民への周知

【直ちに着手し、来年の出水期までに実施】

- 氾濫シミュレーションの公表
- 避難のためのタイムラインの整備
- 洪水予報文、伝達手法の改善
- 市町村へのリアルタイム情報の充実

2. 地域住民を支援する緊急行動

～地域住民が自らリスクを察知し
主体的に避難するための支援～

【できるだけ早期に実施】

- 洪水に対しリスクが高い区間の共同点検、住民への周知(再掲)
- ハザードマップポータルサイトの周知と活用促進 11月20日～25日実施済

【直ちに着手し、来年の出水期までに実施】

- 家屋倒壊危険区域の公表
- 氾濫シミュレーションの公表(再掲)
- 地域住民の所在地に応じたリアルタイム情報の充実